

茶道

平等な世界×異空間×楽しいお茶

舎人茶道水柳会

活動日時：月3回 第1・2・3金曜日 午前10時～11時30分
入会金：500円 月会費：5,000円

アットホームに健康体操

突然ですが、みなさんは「にじり口」ってご存知でしょうか？

茶室には、「にじり口」という客用の小さな出入口があります。高さ・幅が60cmほどの狭い入口なので、頭を下げた正座をする形で入ること（にじる）から「にじり口」といわれています。武士も商人も農民誰もが頭を下げて入らなければならないので、身分に上下がないこと、茶室では平等であることを表しているとされました。

また、簡単には入れないことから日常を持ちこませない入口、無理に入ることから新しい世界が開ける入口として考えられているようです。



茶道で有名な千利休の逸話にこんな話があります。利休が正客（最上位の客）として商人を招いた茶会を催していた時のことです。豊臣秀吉の配下であった大名の木村常陸介という人が、茶会に加えてほしいと利休に頼みます。利休は「末席（一番の下座に座る客）でも良いですか」と尋ねると、木村常陸介は「それでけっこう」と答えるのです。

このように、茶道の世界では誰もが平等にお茶を楽しむことができます。「茶道は私には難しいかも……」とと思っているそこのあなた！あなたにも茶の湯の道が開かれているんですよ！



日常とは違う空間「水柳会」

舎人茶道水柳会の皆さんは第1・2・3金曜日の午前中に活動されています。月2回は先生の指導があり、1回は自主練習をします。

にじり口と同じように、サークル活動場所の教養室の中は日常とは違う、と会員の皆さんはおっしゃいます。一週間に一度の緊張感を持つことができるのだそうです。そして、一週間経つと、また来たくなるのだそうです。

お茶を楽しいイメージにしたい

先生は「格式ばったお茶のイメージを変えたい。お茶は楽しいものだと思ってもらいたい。」とおっしゃいます。

舎人茶道水柳会は今年新規で3名の方が入りました。初心者の方も、続けている方も、みんな同じ空間で茶道を楽しんでいます。

年初めには「初釜」を行います。「初釜」とは、茶道の稽古の始まりの日のことです。晴れ着姿で稽古にいらっしゃる方もいるそうです。

舎人茶道水柳会の活動をご覧になってみませんか？